
隔週刊「農業文化マガジン『電子耕』」 第 323 号

—環境・農業・食べ物など情報の交流誌—

2011.11.17 (木) 発行 山崎農業研究所&編集同人

<キーワード>

環境・農業・健康・食べ物などの情報提供、高齢者と若者、農村と都市の
交流ミニコミ誌。山崎農業研究所&『電子耕』編集同人が編集・発行。

<http://www.yamazaki-i.org>

*****発行部数 1190 部*****

□ 目次 □-----

<巻頭言> 日本再生の真の糸口 安富六郎

<お知らせ> 山崎農業研究所所報『耕 No.126』発行されました

<編集後記> 豆乳ヨーグルトに季節を感じる

<巻頭言> 日本再生の真の糸口

10月14日の政府と東電の発表で福島原発事故(2011.3.11)は、とてつもない大事故であることを知った。3月当時、政府は過小評価で真実を伏せていた。それが時間と共に深刻さを増してきた。そしていま、こんな大事故の発表である。多くのテレビ・新聞が過小評価を鵜呑みに報じ、事実の検証を怠った。戦時中の報道管制時代のようなようである。原子炉のメルトダウンのような重大事故は3月の段階ですでに分かっていたとすれば、その時点で発表しなかったことは事実を隠した一種の「官製風評」を生み出していたことになりはしないか。

これと同じことが農業でも起こっている。政府の考える農業の国際化とは、外国依存の農業であり、今までの政策の失敗を外国から安い食料を買うことによって解決しようとしていることであろう。これは本来の、わが国の農業理念とは異なるものであり、新自由主義経済の延長に過ぎない。儲からない農業は足手まといで、いずれは切り捨てるという考えであろう。

これをさらに助長するTPPは農業、農村、漁村を壊滅状態にさせるだけでなく、文化や地域社会・健康にも大きな影響を与え、格差社会を助長するように思う。これらへの正しい情報提供や議論もせずに、TPP参加ありき、を前提に物事を進めているのであろうか。いま、環境保持、生物多様性という名目で漁場や海域再編の考えもある。政府は再び重大な、なにかを隠そうと試みているかのように見える。

今までの原発情報発信の信頼性を回復するためにも、いまこそ国民、農業者の意見を真摯に受け止め、信頼を得るように行動すべきである。そして新聞・テレビは農業、漁業、医療制度問題にも正しい情報を流すべきだと思う。ここに日本再生の真の糸口があるのではなかろうか。

安富六郎

山崎農業研究所所長

yamazaki@yamazaki-i.org

<お知らせ> 山崎農業研究所所報『耕 No.126』発行されました

山崎農業研究所所報『耕 No.126』が発行されました。

ご希望の方には雑誌を頒布（有料：1,000円）いたします。

yamazaki@yamazaki-i.org

までご連絡ください。

目次（抜粋）

《土と太陽と》（巻頭言）

アグロノミストとして、太陽エネルギーの利用を考える◎塩谷哲夫

〔第138回定例（現地）研究会〕

小川光氏 山崎記念農業賞を祝う会

研究会——ものづくり・ひとづくり・むらづくり をめぐって

参加者の声 成尾和浩／永井智一／若松美香／益永八尋

〔第139回定例研究会〕循環型社会と農業——とくに畜産との関係から

I 安全・安心こそいのち——牛飼い雑記◎峯村富治

II 有機性資源の循環利用による土の健康

——総合的養分管理の重要性◎松村昭治

〔第140回定例研究会〕蘇れ、山と森と林

I 荒れ山を逆手にとれ！ 木のある暮らしの実践と楽しみ方◎大内正伸

II 荒れる人工林：森林管理から木材利用まで林業再構築をめざして◎鋸谷 茂

〈連載〉畦道・赤トンボのナショナルリズム [17]

科学とナショナルリズム／宇根 豊

<編集後記> 豆乳ヨーグルトに季節を感じる

東京電力福島第一原子力発電所事故後、しばらくしてから「豆乳ヨーグルト」をつくりはじめた。

飯山一郎の LittleHP

<http://grnba.secret.jp/iiyama/>

米の一番とぎ汁に粗塩 1~2%を加えて発酵させる。この乳酸菌液をオリゴ糖とともに豆乳に入れてヨーグルトをつくる。乳酸菌による免疫力の向上はガンの予防に有効だという。

「豆乳ヨーグルト」にも「米のとぎ汁乳酸菌液」にも批判は多い。「米のとぎ汁乳酸菌液」は腐敗だから、それによる健康被害のほうがこわいという声もある。だが、いまのところ、わたし自身にはそのような兆候はまったくない。

体調（とくに胃腸）は以前よりも具合がいいと感じているし、「米のとぎ汁乳酸菌液」を観葉植物などに与えると市販の液肥よりもよほど効果があるのにおどろかされたこともある。

真夏の頃は一晚もおけば出来上がったが、最近は気温も下がったためかそういうわけにはいかない。オリゴ糖の量をふやしたり、置き場所を日のあたる場所にしたりと、それなりに工夫する。味もコロコロかわるので、「生きもの」を扱っているという感覚だ。豆乳ヨーグルトに季節を感じるという言い過ぎだろうか。

2011年11月17日

山崎農業研究所会員・田口 均

yamazaki@yamazaki-i.org

山崎農業研究所編・発行／農山漁村文化協会発売

『自給再考——グローバル化の次は何か』

(発売：2008/11 定価：1,575円)

http://shop.ruralnet.or.jp/b_no=01_4540082955/

たくさんの書評・紹介記事をいただいています。感謝・感謝です。

-
- ◎辻信一さん（文化人類学者、ナマケモノ倶楽部世話人。明治学院大学教授）
グローバルの次は何？ ～卒業するゼミ生諸君へ
<http://www.sloth.gr.jp/tsuji/library/column64.html>
- ◎戒谷徹也さん（大地を守る会）
ブログ：大地を守る会のエビちゃん日記 “あんしんはしんどい”
「自給率」の前に、「自給」の意味を
<http://www.daichi.or.jp/blog/ebichan/2008/12/16/>
- ◎吉田太郎さん（長野県農業大学校教授、執筆者）
キューバ有機農業ブログ 自給再考の本が出ました
http://pub.ne.jp/cubaorganic/?entry_id=1822182
- ◎関良基さん（拓殖大学政経学部）
ブログ：代替案 書評：『自給再考ーグローバリゼーションの次は何か』
<http://blog.goo.ne.jp/reforestation/e/cb22650fa39384bdd22b61440fa81fa0>
- ◎大内正伸さん（イラストレーター・ライター）
ブログ：神流アトリエ日記 (3) 「書評『自給再考』」
<http://sun.ap.teacup.com/applet/tamarin/20081204/archive>
- ◎ブログ：本に溺りたい グローバリゼーションの次は何か
<http://renqing.cocolog-nifty.com/bookjunkie/2009/01/post-841e.html>
- ◎森川辰夫さん
NPO 法人 農と人とくらし研究センター／資料情報
<http://www.rircl.jp/shiryo.htm>
- ◎日本農業新聞／書評
(2009/01/19 評者：日本農業新聞編集委員 山田優)
<http://yamazaki-i.org/>
(画面トップの「書評はこちらから」よりアクセス下さい)
- ◎小谷敏さん（大妻女子大学）
日本海新聞コラム「潮流」／「自給」の方へ（2009/01/31）
<http://blog.goo.ne.jp/binbin1956/e/c895f6619b30ba7725e264b4daa75219>
- ◎白崎一裕さん（(株)共に生きるために）
月刊とちぎV ネットボランティア情報 vol.158／しみん文庫
<http://yamazaki-i.org/>
(画面トップの「書評はこちらから」よりアクセス下さい)
- ◎塩見直紀さん（半農半X研究所、執筆者）
ブログ：半農半Xという生き方～スローレボリューションでいこう！
立国集。

<http://plaza.rakuten.co.jp/simpleandmission/diary/200812270000/>

◎お願い「<読者の声>の投稿規定・メールの書き方」

- 1、件名（見出し）を必ず書いて下さい。「はじめまして」は省略して、言いたいことを具体的に。
- 2、氏名・ハンドルネームは、文末ではなく始めのほうに。
- 3、1回1テーマ、10行位に。
- 4、ホームページを持っている人は、文末に URL を。
- 5、JIS X0208 規格外の文字（機種依存文字）のチェックを。

<http://www.chem.sci.osaka-u.ac.jp/networks/check/jisx0208.html>

インターネットで使えない丸数字や半角カタカナ、括弧入り略号などは文字化けの原因です。

次回 324 号の締め切りは 11 月 28 日、発行は 12 月 01 日の予定です。

<本誌記事の無断転載を禁じます>

隔週刊「農業文化マガジン『電子耕』」 第 323 号

最新号・バックナンバーの閲覧

<http://archive.mag2.com/0000014872/index.html>

<http://nazuna.com/tom/denshico.html>

購読申し込み／解除案内

<http://www.yamazaki-i.org>

2011.11.17（木）発行 山崎農業研究所&編集同人

<mailto:yamazaki@yamazaki-i.org>

***** ここまで『電子耕』 *****